

【外国語・中1・「Stage Activity 1 “All about Me” Poster】①

育成を目指す資質・能力

- (知識・技能) 既習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。自分が好きなことについて、読んだ内容を参考に情報を整理し、既習事項を用いてつながりのある文章を書く技能を身につけている。
- (思・判・表) 自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書き、おたがいに読んで感想を伝え合っている。
- (主体態) 自分のことを知ってもらうために、自分が好きなことについて、情報を整理してつながりのある文章でポスターを書くとし、おたがいに読んで感想を伝え合おうとしている。

ICT活用のポイント

協働的な学びの実現／自分の考えと友達の考えを見比べたり参考にしたりすることで、表現の幅を広げることができる。

【つかむ】

教科書本文を参考にして、自己紹介文の見直しをもつ

「自分の好きなこと」を紹介する英文を書こう！

【追究する】

既習表現を活用し、マッピングをもとに「自分の好きなこと」について、つながりのある文章を書く

【まとめる】

文化祭で自己紹介文を掲示するとともに、その内容について感想や質問を伝え合う

事例の概要

- ワークシートに、「自分の好きなこと」についてマッピング形式で記入し、写真で撮影する。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 前時に作成したマッピングを元に、Small Talkにおいてペアで自己紹介を伝え合う

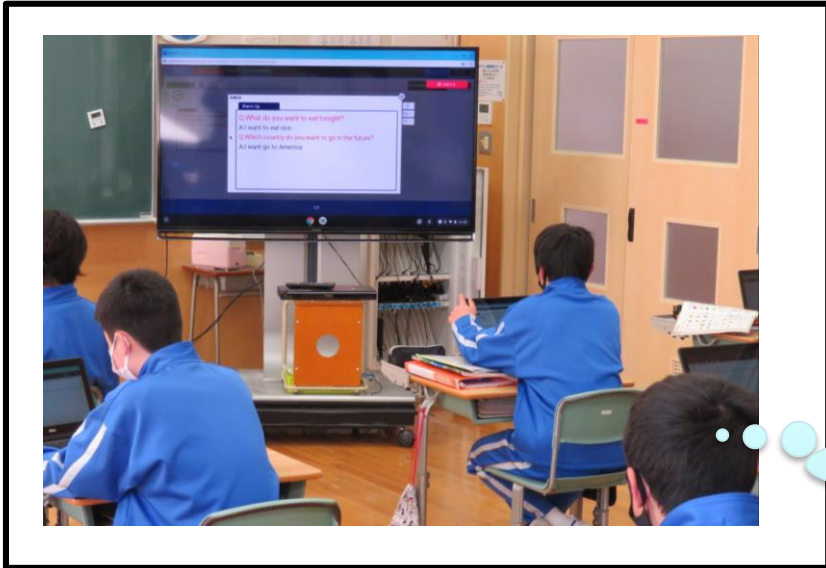
【事例におけるICT活用の場面②】

- 各自が撮影した自己紹介文を学習支援ソフトを通して提出し、全体で共有するとともに、自分自身の自己紹介文と友達の文を比較する。

- 学習支援ソフトを通して、感想や質問を伝え合う。
- 作成した自己紹介文を写真で撮影して、デジタルポートフォリオとして保存をする。

【外国語・中1・「Stage Activity 1 “All about Me” Poster】②

【事例におけるICT活用の場面①】



Small Talkで小学校での既習表現を想起させたり、前時の復習で新出表現を意識させたりした後に、本時の前半で「自己紹介」に書きたい内容の英文をできるだけ多くワークシートに書く。【試しの活動】大型モニターと生徒の端末の両方にSmall Talkの課題が提示されて、これを元にJTEとALTとのデモンストレーションを視聴して、生徒はそれらを参考にしてペア活動にいかそうとしている。

“want to ~”は「~したい」だったな。
だから・・・

【事例におけるICT活用の場面②】



考えを共有する場面では、生徒自身がワークシートを撮影した写真を学習支援ソフトに提出させ、互いの考えを視覚的に共有する。生徒たちは、提出されたワークシートを互いに見合い、考えと比較したり参考にしたりすることができる。そのため、生徒は「試しの活動」では不十分であった内容や忘れていた既習表現を、本時の学習を通して振り返り、自らの学びを実感できるようにする。

Aさんの自己紹介文のI'm good at cooking.は私も使えそうだな。

【活用したソフトや機能】

- ・カメラ
写真撮影
- ・学習支援ソフト